



# 難攻不落



## 「2023 国吉城まつり」開催！

令和5年5月5日(金・祝)、国吉城址に参陣した人々で勝鬨を上げて幕を開けた地元佐柿区主催の「2023 国吉城まつり」。今年は4年ぶりに城跡のシャガを楽しめる季節に開催され、ご来城のみなさんは国吉城址の自然と歴史を堪能しました。

会場では福井県の伝統工芸を応援するアイドルグループ「さくらいと」のミニコンサートや越前町出身の芸術家・西野カインさんのライブペイント、敦賀市

の歴史愛好団体「若越 敦賀歴史倶楽部」による甲冑着付体験などが行われました。さらに、歴史小囃「どうなの？家康」では今年の大河ドラマ『どうする家康』に関連して、「金ヶ崎の退き口」と徳川家康、そして国吉城との関わりについて、当館館長と敦賀FMのナビゲーター・澤壽ゆいさんがトークを繰り広げました。その他、町民の皆さんによるステージイベントや出店などで会場はたいへん賑わいました。



## 福井でどうした家康！ ～国吉城歴史講座・特別編～

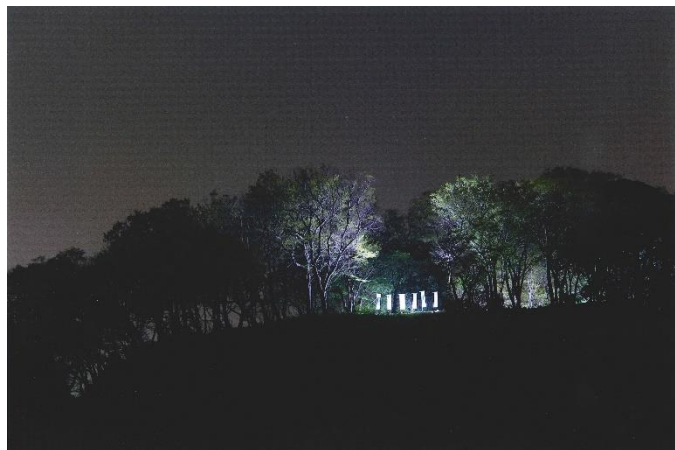


3月19日(日)に(公財)日本城郭協会・加藤<sup>かとうまさふみ</sup>理文理事をお招きした国吉城歴史講座・特別編を開講し、県内外から47名の方が参加しました。第1部は国吉城址の見学会として、加藤さんに解説していただきながら本丸跡を目指しました。加藤さんが当館と違う視点で解き明かした国吉城の姿は、受講者の皆さんだけでなく当館職員にとってもたいへん勉強になりました。

第2部は記念講演会「福井で、どうする家康！」と題し、大河ドラマ『どうする家康』で現在注目を集める武将・徳川家康と国吉城、福井との関わりについてお話いただきました。ドラマの放送効果により受講者の関心は高く、質疑応答では加藤さんと質問をした受講者の方が講演の内容についてさらに深掘りする場面がありました！

最後は加藤さんから受講者の皆さんに記念御城朱印を手渡ししていただきました。中には加藤さんと記念撮影をする方の姿も！令和5年度の国吉城歴史講座は5月下旬にご案内します。乞う、ご期待！

## 国吉城址の新たな魅力発信！ ～本丸跡の幟ライトアップ～



幟ライトアップの様子(個人撮影・提供)



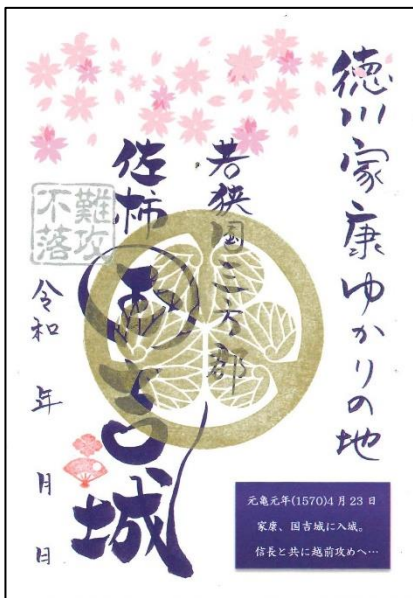
幟・ソーラーライト設置作業の様子

3月中旬より、大河ドラマ『どうする家康』の放送に合わせ、国吉城址に立てた幟のライトアップを始めました。夜になると暗闇に幟がUFOのように照らされます。

国吉城本丸跡及びⅡ郭跡に徳川家康ゆかりの地であることや国吉城をPRする幟25本を立て、その足下にソーラーパネルで充電し点灯するライトを1台ずつ設置しました。この作業は、(一社)佐柿国吉100年プラン推進委員会の皆さんの協力を得て行いました。地元の方々と新たな国吉城の魅力を創り出すことができた喜びは格別です！ぜひ好天の日の夜に国吉城本丸跡を見上げてみてください！

なお、このライトアップは遠くからお楽しみいただくものです。夜間の国吉城址散策は大変危険ですので、ご遠慮ください。また、くもりや雨の日は十分に蓄電されておらず、点灯時間が短いまたは点灯しないことがあります。

# 桜もシャガも超早咲き！ 家康公入城から 453 年目の春



佐柿に咲いた桜と国吉城址(上、3月28日)  
今年販売した桜の御城朱印(左)



国吉城主居館跡に咲くシャガ(上、4月11日)  
今年販売したシャガの御城朱印(左)

元亀元年(1570)に徳川家康が国吉城を訪れてから453回目の春を迎えました。今年は3月から暖かい日が多いためか、桜もシャガも超早咲きでしたΣ(°Д°)

佐柿に咲く桜は3月下旬に開花を観測し、同月末にはすでに満開！例年より10日ほど早く見頃を迎えました。そして、国吉城址及び当館周辺に咲くシャガは3月末に開花を観測し、4月中旬にはもう満開！例年より2週間も早く見頃を迎えてしまいました！近年は春が早く終わるように感じられますが、今年は一段と早く春が過ぎていくのでしょうか…

さて、当館では今年も春の二大風物詩をモチーフに

した御城朱印を製作しました。桜の御城朱印は桜吹雪をあしらひ、紫色の文字を入れました。販売最終日である4月23日(日)は、家康の国吉城入城の日と重なるため、この日限りの特別版を販売しました！

そして、シャガの御城朱印は書画が得意な職員2名の合作です。国吉城の「国」の字をキャンバスに見立ててシャガの花を描き入れました。可憐な花と柔らかさのある文字が相まってステキな仕上がりになりました！(いずれも販売は終了しています)

まもなく夏になろうとしています。初夏限定の御城朱印は現在企画中です。お楽しみに～☺

## 家康、なぜ美浜に来た!? ～企画展でさらに深掘り!～



展示会場の様子

当館では7月23日(日)まで令和5年度春季企画展「どうした家康!?!～なぜ美浜に来た!～」を開催しています。

元亀元年(1570)4月23日、織田信長が木下藤吉郎(豊臣秀吉)・徳川家康らと共に国吉城に入城しました。その2日後、越前敦賀(敦賀市)に出陣しましたが、信長の妹婿で近江の浅井長政の裏切りによって撤退を余儀なくされました。この時の撤退戦を「かねがさきの退き口」といい、この戦いで信長が生涯最大の危機を迎えたこと、秀吉が殿として活躍したことはよく知られています。一方で家康も戦場で窮地に陥っていたこと、そして撤退時に国吉城や現在の美浜町域が重視されていたことは、従来注目されていませんでした。

しかし、令和2年の大河ドラマ『麒麟がくる』に登場したことで、国吉城が全国から注目されるようになりました。また、今年の『どうする家康』においても、4月2日(日)に放送された第13回「家康、都へゆく」で登場した地図に「国吉城」や「黒濱」「丹生」など美浜町域に残る旧跡の名や地名が表示されていました。ますます国吉城や美浜町に対する関心が高まること期待されます。

本展では、金ヶ崎の退き口に関する新説と家康と美浜町との関わりについてご紹介しています。ぜひご来館ください!なお、今年度の展示スケジュールについては、美浜町ホームページ(<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/soshiki/30/618.html>)をご覧ください。

## たくさんの方が来館しました!

3月



琵琶ドリームツアーズ①(30名)・②(31名)

4月



着物を着る会(お茶会、8名)

5月



美浜中央小学校5・6年生写生大会(47名)

## 新・文化遺産カード配布中!



2023年5月14日現在 来館者数は…

**92,381名**

### M学芸員のひとりごと

こんにちは、国吉城おもてなし甲冑隊・栗屋勝久の中の人です。国吉城まつり当日、急に勝久公になることが決まり、気づけばステージで勝鬨を上げていました。急遽決まったとはいえ、とても楽しめたので、来年も甲冑を着たいと密かに思っています。

### 編集・発行

美浜町教育委員会事務局 若狭国吉城歴史資料館

〒919-1132 福井県三方郡美浜町佐柿 25-2

TEL.0770-32-0050 FAX.0770-32-0057